



関西本線

ウォーキングガイド



ほうりゅうじ

法隆寺駅 編

(安堵町コース)

コースガイド ▶ウォーキング距離：約 7.5 km ▶参考所要時間：約 3 時間

情緒あふれる文化財を堪能するコース

奈良盆地の中央よりやや北西部に位置する安堵町は、町内を流れる主要河川によって形成された豊かな土地で、古くからさまざまな文化が發展しました。

奈良時代には「飽波郷」とよばれ、「飽波宮(または飽波葦垣宮)」と呼ばれた行在所があったことが「続日本紀」に記されています。

近代陶芸の巨匠である富本憲吉氏が、生誕地であるこの地「うぶすな」を愛し、安堵周辺の風景や植物をモチーフにした作品を数々残すなど、文化財や古い町並みが点在し、情緒ある安堵町に魅せられる人が後を絶ちません。



安堵町歴史民俗資料館

🚗 時間があれば寄ってみよう

▲天理軽便鉄道廃線跡 (斑鳩町阿波)

❶天理軽便鉄道廃線跡 (西安堵 天理軽便鉄道跡 木戸池築堤)

大正時代初期に、安堵町内を天理軽便鉄道という蒸気機関車が走っていました。新法隆寺-天理間を走っていたこの鉄道は、地域の交通手段として活躍し親しまれていました。

❷「すてんしょう」の道標

「すてんしょう」(ステーション・駅)を示す道標。これは明治22年(1889)に開通した大阪鉄道(今のJR大和路線)の法隆寺駅と、法隆寺へ向かう道を案内するために建てられたものです。

❸御霊神社(笠目)

笠目所在。由緒や祭神は不明ですが、一説によると、津速彦霊命ともいわれ、本殿は春日造一間社です。以前は「牛頭天王」を祭神とし、「大和川」に流れ込む「富雄川」の治水を司るための「水神」を奉祀したという、境内の末社に水神を祀る「龍神社」があります。

❹杵築神社(層塔)

中窪田所在。窪田全域を鎮守する神社で、江戸時代は「大宮」と呼ばれました。素盞鳴命を祀り、もとは大和川沿いにありましたが、昭和33年、川の改修時に現在地へ移転しました。由緒は古く、繁田郷(現川西町吐田)から遷されたといい、明治初年まで境内には深楽寺という宮寺がありました。

🎁 安堵町の特産品

■いぐさ飾りストラップ
「ミニぞうり、すずめ筆」

安堵町の伝統産業である灯芯の原料「いぐさ」を利用して作った手作り携帯ストラップです。ミニぞうりとすずめ筆の2種類あり紐の色も自由に選べます。



■あんどん
行灯「しあわせの灯」

安堵町の伝統産業である“灯芯”を使った手作り行灯です。灯芯についてもっと知って頂きたい、灯芯ひきを守りたい…こんな想いから保存会のメンバーが、ボランティアで創作しました。昔を懐かしむ一品としておひとついかがでしょうか？



●上記の二つの特産品につきましては、安堵町歴史民俗資料館で販売しております。

関西本線

全路線図

関西本線は、名古屋～大阪間を最短距離で結び、自然景観から都市景観まで多様な魅力が楽しめる路線です。

JR西日本

JR東海

- JR難波
- 天王寺
- 三郷
- 王寺
- ★法隆寺
- 大和小泉
- 郡山
- 奈良
- 平城山
- 木津
- 加茂
- 笠置
- 大河原
- 月ヶ瀬口
- 島ヶ原
- 伊賀上野
- 佐那具
- 新堂
- 柘植
- 加太
- 関
- 亀山
- 井田川
- 加佐登
- 河曲
- 河原田
- 南四日市
- 四日市
- 富田浜
- 富田
- 朝日
- 桑名
- 長島
- 弥富
- 永和
- 蟹江
- 春田
- 八田
- 名古屋



達磨寺(奈良県・王寺町)



岩倉寺(京都府・木津川市)



九華公園(三重県・桑名市)



森津の護(愛知県・弥富市)

おすすめコース

法隆寺駅



徒歩約40分

1 飽波神社

あくなみじんじゃ

聖徳太子の創祀と伝えられ、東安堵と西安堵の総鎮守社。素盞鳴命等を祀っており、江戸時代は牛頭天王と称されました。この神社の本殿及び所蔵している絵馬や祭具、楽器は県の指定文化財で、「なもて踊り」に使用されたもの。かつての民俗芸能の一端をうかがい知ることができます。



2 へ徒歩約5分

2 安堵町歴史民俗資料館

奈良県再設置の功労者である今村勤三氏の業績を称え、氏の邸宅を安堵町に関わる資料を展示・伝承する場として開館しました。今村家は北垣内一統の農家として続き、東安堵村草分けの旧家のひとつ。江戸時代の中頃からは村の役人として庄屋などを務めました。勤三氏の伯父である今村文吾氏は幕末になると私塾「晩翠堂」を開き、天忠組（天誅組）で有名な伴林光平氏とも深い交流があったといわれています。

安堵町歴史民俗資料館

■開館時間 / 9時～17時

(入館は16時まで)

■休館日 / 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は開館)、12月27日～1月5日

■入館料金 / 大人 ¥200

学生 ¥100

小人 ¥50

団体割引あり

3 へ徒歩約15分

3 中家住宅 (重要文化財)

南北朝時代ころから在地武士として成長し、戦国時代には筒井氏の一族として活躍した土豪で、窪田氏を名乗っていましたが、その惣領家は中殿と呼ばれたため、やがて中氏と称するようになりました。二重の濠に囲まれた広大な屋敷は、かつての窪田殿の居館であり、中世の大和地方における平城の姿を今によく伝えています。屋敷内には、国の重要文化財に指定された大和棟の美しい主屋をはじめ、表門・新座敷・蔵・持仏堂などが残り、中世武士の居館様式を伝えています。

※事前に、電話にて予約をして下さい。(0743-57-2284)

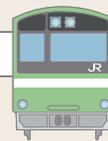
■開館時間 / 10時～17時

■非公開日 / 8月1日～31日、12月20日～1月10日

■入館料金 / ¥500

徒歩約45分

法隆寺駅



ウォーキングMAP



お問い合わせ 安堵町 TEL : 0743-57-1511 FAX : 0743-57-1526

